

なかつがわ



令和5年 中津川市議会 3月定例会

市の花 サラサドウダン

つるし雛を議場に飾り議会を開催しました



**3月議会は今期最後の議会となりました
4年間ありがとうございました。**



目次

- 令和5年度予算の規模と市税&借金(市債)の前年度比較・②
- 令和5年度予算の目玉事業……………③
- 当初予算各部の主な取組みと議会の所見……④
- 議案……………⑦
- 予算決算委員会報告……………⑩
- 常任委員会報告……………⑬
- 特別委員会先進都市行政視察報告……………⑮
- 一般質問……………⑰
- 特別委員会報告……………⑲
- 編集後記他……………⑳

トピックス

- 令和5年度当初予算
- 常任委員会から市への政策提言・申入れ
- 特別委員会先進都市行政視察報告



▲市の木 こうやまき



令和5年度中津川市
主要な取組
 一般会計予算
412.6億

宿場の
 リニアの
 を創る

新たな産業の集積地
西部地区テクノパーク
 アクセス機能の充実
幹線道路網整備



宝島社発行
 「田舎暮らしの本」2月号



若者の定住
 市内企業の魅力や技術を小中学生が体験
 地域の将来を担う職種に対して修学支援
 特定地域に家建てる子育て世帯の定住支援

開校
 行政機能一部移転及び
 会議棟整備

人と猫の共生
 動物愛護団体等と連携
 適正飼養の推進
 不妊去勢手術助成

東京大学大学院との共同研究
 新たなモビリティサービスを活用した交流生活交通網
「次世代交通研究プロジェクト」
 広域連携を実現
 (仮称) 神坂スマートインターチェンジ整備



付知地域
 デザインミュージアム

災害に備える
 近年頻発する災害から、
 市民の生命と財産を守る！
避難所への組み立て式トイレ配備
給食共同調理場整備

中津川市
ひとまちテラス
 交流・学び・にぎわいの拠点オープン
ひと・まちテラス
 集客イベント・公共空間の利活用で活性化
 商店街仮想マップ活用による回遊性強化
 ビジョンの実現



新図書館
 セルフレッド・巡回機導入
 床就回一掃予約
 子育て支援センター

ゼロカーボンシティの推進
補助メニュー
 ・住宅用太陽光発電
 ・新・ペレットストーブ
 ・住宅用燃料電池
 ・住宅用蓄電池
 ・V2H
 ・次世代自動車



令和5年度予算の規模と市税&借金(市債)の前年度比較

全会計の合計：808億1,251万2千円 (対前年度比1.9%減)
 一般会計：412億6,000万円 (対前年度比3.3%減)

(単位：千円、%)

	令和5年度		令和4年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	41,260,000	51.1	42,650,000	51.8	▲1,390,000	▲3.3
特別会計	17,877,949	22.1	18,183,334	22.1	▲305,385	▲1.7
企業会計	21,674,563	26.8	21,557,523	26.1	117,040	0.5
合計	80,812,512	100	82,390,857	100	▲1,578,345	▲1.9

税収：市税 (単位：千円)

区分	令和5年度	令和4年度	比較	
市税	9,974,466	9,724,324	250,142	2.6%
うち市民税	3,824,677	3,709,711	114,966	3.1%
うち個人市民税	3,324,184	3,248,188	75,996	2.3%
うち法人市民税	500,493	461,523	38,970	8.4%
うち固定資産税	4,849,165	4,739,892	109,273	2.3%
うち都市計画税	536,379	525,383	10,996	2.1%

借金(市債)の借入と返済 (単位：千円)

区分	令和5年度	令和4年度	比較		令和5年度予算	
借金(市債)	3,073,500	4,763,540	▲1,690,040	▲35.5%	借入額(市債)	3,073,500
施設整備のための借金(市債)	2,862,700	4,144,800	▲1,282,100	▲30.9%	借金の定期償還額	4,112,103
					うち元金	3,968,541
					うち利息	143,562
臨時財政対策債	210,800	618,740	▲407,940	▲65.9%	借金残高	34,335,941

主な大型事業一覧 (単位：千円)

	令和5年度 予算額	財源内訳					令和4年度 予算額	比較
		国・県 支出金	繰入金	諸収入	市債	一般 財源		
リニア中央新幹線開通道路整備	798,136	325,000	2,000	0	419,200	51,936	729,528	68,608
リニア駅周辺土地画整理	1,102,939	227,515	265,411	183,140	343,000	83,873	759,331	343,608
企業誘致推進	187,035	2,197	100,000	0	0	84,838	69,070	117,965
(仮称)神坂スマートIC	505,803	200,000	0	0	280,200	25,603	116,508	389,295
調理場整備	143,000	0	0	0	135,800	7,200	0	143,000
行政機能移転	234,740	0	0	0	218,500	16,240	0	234,740

当初予算 各部の主な取組みと議会の所見

※□・・・各部の主な取組み、■・・・議会の所見

【市民福祉部】

□人々がかがやくまちとして、地域医療と保健、介護、福祉の連携を図るとともに、救急車の手配に迷うときに医師や看護師に相談できる救急安心センターを導入いたします。また「高齢者が住みなれたまちで、健康で生きがいを持って、自立した暮らしができる社会」を目指し、地域包括ケアシステムの深化への取り組みを推進します。

■救急車が正しく利用でき、一人でも多くの人命救助ができるよう救急安心センターの導入に期待します。また、地域包括ケアシステムの取り組みでは、市内6か所の地域包括支援センターを中心に保健・医療・福祉・介護などの関係機関との連携を強化し、市内15地区に担当者を置く「生活支援コーディネーター」の協力で取り組みを深化させ、多くの高齢者が自立した暮らしができるまちにしましょう。

【建設部】

□「リニアを活かし人の流れを地域に導くまち」「災害に強い安全なまち」「便利に暮らせるまち」を実現するため社会基盤の整備を推進します。(仮称)神坂スマートインターチェンジの整備の進捗を図り、市道の維持修繕、橋梁(市内870橋)の耐震・補修、通学路の危険箇所除去、改良及び安全施設の補修、歩道や側溝の整備などの安全対策を行います。豪雨災害に備えるため河川の整備や国・県と連携した砂防事業も推進します。

■近隣の市町村と比較しても維持補修が必要な道路や橋梁数は多く、費用も必要となりますが、「安心なまち」のために計画的な維持管理をお願いします。通学路の安全対策をさらに進めてください。

【文化スポーツ部】

□「ひと・まちテラス」内に図書館が拡張移転し、ICTタグ読込型セルフ貸出機などを導入しDXを取り入れた図書館機能の充実を図ります。「一市民1スポーツ」による健康づくりを推進します。落合宿本陣、苗木城跡の整備に取り組み、ふるさとに誇りをもつ事業を実施します。

■子育て支援センター、カフェなどの複合施設の良さや最新の機能を持つ図書館として、中心市街地の利点を生かし、子どもや高齢者など多くの市民が気軽に利用できるような取り組みを期待します。中央図書館として市内の蛭川済美図書館、公民館図書室や地域事務所にある図書室とも連携して、さらに新図書館として中津川市の知的拠点として発展することを期待します。



▲落合宿本陣

【政策推進部】

□夏には交流と学びとにぎわいの拠点となる「ひと・まちテラス」がオープンする予定です。老若男女が集い、交流や活動の場として「未来を担うひとづくりと活気あふれるまちづくり」を推進する施設にします。

■この施設を、一人でも多くの市民に活用して頂き、「ひと・まちテラス」を中心に中心市街地が活性化することを期待します。活気あふれるまちづくりの原点は、ひとづくりです。みんなで元気なまちにしましょう。市民の皆様に分かりやすい情報を届けるために、ホームページや広報なかつがわ、市民安全情報ネットワークなどを十分に活用すると同時に、市民の皆様の声にしっかりと耳を傾けてください。

当初予算 各部の主な取組みと議会の所見

※□・・・各部の主な取組み、■・・・議会の所見

【教育委員会】

□心身ともたくましい子の育成に取り組んでいきます。学力向上のため市費任用職員を活用して学校支援、増加する不登校対策のための施策を充実していきます。坂本地区小中学校給食共同調理場は令和7年度からの配食を目指します。

■令和5年度は、この3年間新型コロナウイルス感染症のため取り組めなかった様々な行事等が復活してくると思います。学力向上、友達との関わりを深め、目的の持てる楽しい学校生活への支援をお願いいたします。

【病院事業部】

□令和5年度は「公立病院経営強化プラン」を策定します。持続可能な地域医療提供体制を確保すると共に、公立病院の果たす役割の重要性に鑑み、経営の強化を目指します。坂下診療所・坂下老人保健施設は民営化に向け法人との協議を引き続き進めていきます。

■病院経営の安定化を求めること、他、医師や看護師等の医療スタッフの確保にさらに努めていただくとともに、今まで以上に市民が安心して利用できる、慕われる病院を目指してください。

【農林部】

□農林業の担い手が減少する中での新型コロナウイルス感染症に伴う急激な人手不足や新たな社会環境に対応し、生産を維持・発展させていくためICT等先端技術を活用するとともに、人材育成や農地や林地の集積・集約化等を図っていきます。

■農林業を支える環境の整備への積極的な取り組み、カーボンニュートラルの実現、SDGsの達成、災害の未然防止への取り組み、新規就農等への寄り添った取り組み等を期待します。

【商工観光部】

□リニア関連のアドバンテージを活かし、人の流れとにぎわいをつくり出し、「働く場の創出、まちなかのにぎわい創出、観光誘客の推進」を施策の柱として取り組み、DXやゼロカーボンにも対応していきます。

■西部テクノパークの着実な整備や、まちなかの歴史・文化をはじめとした既存資源の活用事業展開支援、中津川市観光局や関連団体等と連携した戦略的な観光振興に期待します。

【環境水道部】

□安全で安心な市民生活環境及び公用水域の水質を保全し、公衆衛生の向上のため各施設の安定稼働を図ります。

■燃料の高騰など大変な時代ですが、老朽化した水道管の更新に併せて行われる耐震化、マンホールポンプ場及び終末処理場の機器更新等、着実・スピーディーな工事に期待します。住みよい環境づくりの推進をお願いします。

【定住推進部】

□ウィズコロナの中、地域の活力を維持し、さらにまちづくり活動を推進するため、まちづくり協議会等の体制強化につながる組織の法人化や、まちづくり協議会と集落支援員が連携強化できる仕組みづくりに取り組みます。

令和4年度に高校生のバス等通学支援制度を見直し、遠距離通学生徒の負担軽減を図るとともに、より広い地域で高校生バス通学を支援します。

■まちづくりの中心的な団体である「まちづくり協議会」の活性化が、中津川市の活性化につながると思います。まちづくり協議会が、精力的に活動できる体制づくりの強化に、ぜひ尽力して頂きたいと思っております。利用者や地域の声を聴きながら便利で利用しやすい公共交通を構築し、将来にわたる公共交通の維持確保をお願いします。

3月定例会

議案の詳細につきましては、
市ホームページをご覧ください



	議案番号	件名	委員会審査		議決結果
			付託委員会	審査結果	
報告	報第1号	専決処分承認を求めることについて【初日議決】 (令和4年度中津川市一般会計補正予算(専第1号))	—	—	承認(全会一致)
条例	議第14号	中津川市ひと・まちテラスの設置等に関する条例の制定について	総	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第15号	中津川市個人情報保護審査会条例の一部改正について	総	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第16号	中津川市避難行動要支援者に係る名簿情報及び個別避難計画情報の提供等に関する条例の制定について	総	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第17号	督促手数料廃止に伴う関係条例の整備について	総	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第18号	中津川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第19号	中津川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第20号	中津川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第21号	中津川市保育の必要性の認定に関する条例の一部改正について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第22号	中津川市国民健康保険条例の一部改正について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第23号	中津川市特定用途制限地域における建築物の用途の制限に関する条例の制定について	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第34号	中津川市小学校及び中学校の設置等に関する条例等の一部改正について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第35号	中津川市学校給食共同調理場設置条例等の一部改正について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
議第37号	中津川市議会基本条例の一部改正について	—	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
人事	議第24号	中津川市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて (横井 晃さん(再任))【初日議決】	—	—	同意(全会一致)
	議第25号	中津川市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (山本 晃さん(新任))【初日議決】	—	—	同意(全会一致)
	議第26号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて (三宅 秀雄さん(再任))【初日議決】	—	—	可決(全会一致)
	議第36号	中津川市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて (若久 義和さん(再任))	—	—	同意(全会一致)
その他	議第27号	財産の取得について(西部テクノパーク整備事業用地)【初日議決】	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第28号	工事請負契約の変更について【初日議決】 (仮称)市民交流プラザ建設工事(建築主体工事)	総	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第29号	調停の申立てについて	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第30号	下浦辺地に係る総合整備計画について	総	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第31号	北部辺地に係る総合整備計画の変更について	総	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第32号	工事請負契約の変更について(衛生センター解体工事)	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)
補正予算	議第1号	令和4年度中津川市一般会計補正予算(第12号)【初日議決】	予	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
	議第2号	令和4年度中津川市後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)【初日議決】	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第3号	令和4年度中津川市水道事業会計補正予算(第2号)【初日議決】	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第4号	令和4年度中津川市下水道事業会計補正予算(第2号)【初日議決】	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第5号	令和4年度中津川市病院事業会計補正予算(第2号)【初日議決】	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第33号	令和4年度中津川市一般会計補正予算(第13号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)

当初予算 各部の主な取組みと議会の所見

※□・・・各部の主な取組み、■・・・議会の所見

【リニア都市政策部】

□リニア開業に向けた「東濃東部都市間連絡道路」や「濃飛横断自動車道」関連の用地買収と工事を進めます。
リニア岐阜県駅周辺では、駅周辺土地区画整理事業関連の整備等に引き続き取り組み、リニア岐阜県駅周辺エリアデザインの継続的な検討も行います。リニア関連の工事が

幅員が狭い地域では市民生活への影響低減や工事の安全かつ円滑な進捗のため、「工事調整会議」を開催し事業者間の調整を図ります。

■中津川市の顔となるリニア岐阜県駅とその周辺の整備が安全に行われ、中津川市や周辺自治体、岐阜県の活性化につながる事業となることを期待します。

幅員が狭い地域では市民生活への影響がで

きる限り少なくなるよう、引き続き市民への周知も含めて注力をお願いします。

【総務部】

□総合計画の総仕上げに向けて、取り組むべき主要施策を円滑に進めるため、発展的継続性のあるまちづくりを着実に推進し、投資的な事業を計画的かつ集中的に実施することが大切です。主な事業として、にぎわいプラザの廃止などマスタープランに基づき施設の統廃合などを行い維持管理経費を減らします。

■マスタープランに基づきにぎわいプラザ用途廃止、行政機能施設の統廃合を進め、維持管理費を減らす施策は行財政改革の観点から重要なことです。未来の中津川市が財政にゆとりがあり、夢のリニアのまちの構築を目指し、勇気と決断力をもって行財政改革を積極的に推進されることを望みます。

【消防本部】

□災害に強いまちづくりを目標に掲げ、消防用施設設備の整備は、水槽付き消防自動車1台、ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ積載車2台及び小型動力ポンプ2台を更新します。救急業務高度化の推進は、救急隊員の教育、知識技術の習得などを図り訓練を継続します。また、中津川市市民病院のドクターカーと連携を密にし、複雑多様化する救急出動に対応します。広い管轄地域において、災害から市民を守るためには消防団との協力が不可欠です。消防団との連携の強化を図り市民の安全・安心を確保します。

■市民が安心して生活できる中津川市の構築には、消防力の充実が不可欠です。火災及び災害における対応には各地域の消防団との連携が大切です。消防団員の勤務先の理解とともに、誇りをもって消防団に入団できる環境づくりをすすめてください。



【市長官室】

□令和5年度は、総合計画後期事業実施計画のスタートの年です。計画を着実に実施するため、市長を中心に国・県などに対して効果的な働き掛けを行えるよう関係機関、関係部署との調整機能を果たします。人事課では「定員適正化計画」に沿って計画的な職員採用を実施しながら、職員が持てる力を十分に発揮できる職場環境の構築に努めます。

■男女問わず育児休業が取得しやすい環境、定年引上げ制度の開始に伴う職員の年齢構成等に配慮した計画的な職員採用をするなどし、職員が持てる力を十分に発揮できる職場環境の構築をお願いします。

予算決算委員会報告 (補正予算)

④早期発注のための事業 10,175万円

- 行政機能移転事業・・・6,600千円
- 公民館を拠点とした地域づくり事業・・・22,000千円
- 防災情報システム事業・・・2,607千円
- 農産物ブランド化推進事業・・・800千円
- 庁舎消防車等維持管理事業・・・2,765千円
- 中学校施設営繕事業・・・1,199千円
- 学校給食管理運営事業・・・1,925千円
- 阿木高校管理事務事業・・・4,073千円
- 高齢者福祉施設等運営事業・・・27,269千円
- 斎場維持管理事業・・・1,012千円
- 道路新設改良事業・・・3,000千円
- 道路維持補修事業・・・28,500千円

⑤基金積立のための事業 92,000万円

- 公共施設整備運営基金管理事業・・・300,000千円
- リニア中央新幹線まちづくり基金管理事業・・・500,000千円
- ふるさとづくり応援基金管理事業・・・120,000千円

⑥人件費の補正 15,653万円

- 職員給与費・・・94,446千円
- 給与費(病院事業会計)・・・62,087千円

⑦事業費等の精算 2,305万円

- 後期高齢者医療広域連合納付金・・・23,052千円

市議会への直行使

市のホームページには、市民の皆様からの声をいただく「議会への直行使」があります。皆様の声をお待ちしています。



市議会の様子を映像配信しています。

中津川市議会の本会議と常任委員会・特別委員会のライブ中継と録画映像をご覧いただけます。

●ライブ中継

本会議と常任委員会・特別委員会のライブ中継を視聴できます。

●録画映像

録画映像を「会議名」会議日・議員名・フリーワードの条件で検索して視聴できます。パソコンの他、スマートフォン、タブレットでの視聴も可能です。

詳しくは、中津川市のホームページ「中津川市議会 映像配信」をご覧ください。



予算決算委員会報告 (補正予算)

3月補正予算の概要

補正予算の詳細につきましては、市ホームページの3月補正「概要」をご覧ください。



■2月1日専決

- 緊急対応が必要な事業・・・17,355万円
 - ・ふるさとづくり寄付金事業・・・119,942千円
 - ・道路維持補修事業・・・53,610千円

■補正を行う会計

- 一般会計・・・177,020万円
- 後期高齢者医療事業会計・・・2,305万円
- 病院事業会計・・・6,209万円

①国・県補助金等を活用しての事業実施 11,410万円

- ・農業委員会委員等報酬を増額・・・5,815千円
- ・東濃東部都市間連絡道路整備を推進・・・40,000千円
- ・橋りょう補修工事を推進・・・21,000千円
- ・踏切歩道整備工事を推進・・・21,000千円
- ・道路改良工事にに向けた測量等を実施・・・15,000千円
- ・河川災害復旧事業費を増額・・・11,281千円

②寄付金を財源としての備品購入等 640万円

- ・教育基金へ積立・・・5,500千円
- ・しあわせづくり基金へ積立・・・492千円
- ・保健事業用備品を購入・・・410千円

③緊急対応が必要な事業 53,350万円

- ・土砂災害ハザードマップ作成業務の不足分を補正・・・2,000千円
- ・苗木城跡周辺の景観、環境整備を実施・・・717千円
- ・退職消防団員へ退職報償金を支給・・・334千円
- ・増級する小中学校に空調設備を整備・・・3,311千円
- ・医療扶助費の不足分を補正・・・26,183千円
- ・坂下診療所へ臨時的に補助・・・101,277千円
- ・坂下老人保健施設へ臨時的に補助・・・99,974千円
- ・中津川531号線(青木斧戸線)関連工事の予算を増額・・・98,000千円
- ・県営事業に対する負担金を増額・・・6,803千円
- ・衛生センター解体工事の予算を増額・・・118,333千円
- ・下水道事業会計を支援・・・38,868千円
- ・水道事業会計を支援・・・37,702千円

常任委員会報告

令和4年度は、令和3年度と同様に常任委員会ごとに所管する範囲でテーマを決め、所管事務調査から課題を整理し、先進都市への行政視察や、テーマに沿った団体や参加者と「市民と議会の対話集会」を行いました。市民の声を聴き、課題や改善策の協議を重ね、令和5年3月28日に3常任委員会から市へ政策提言・申入れを行いました。

申入書、
政策提言書の
詳細はこちらから→



◆総務企画委員会

○「避難所運営等防災対策に係る政策提言」

提言事項

1. 防災・減災意識の高揚及び避難行動
2. 各種マニュアルの策定
3. 避難所の長期運営に対する配慮
4. 人材確保
5. ICTの活用



◆文教民生委員会

○「部活動の地域移行等に係る申入れ」

申入事項

1. 生徒数の減少傾向下での部活動のあり方
2. 指導者の継続的な確保
3. 新しい部活動を支える費用の確保
4. 部活動の目的の明確化と継続できる方策
5. 関係組織の連携調整を担う人材の登用



◆産業建設委員会

○「道路行政施策に係る政策提言」

提言内容

1. 中津川市公契約等の明確化
2. 新・担い手3法を踏まえた公共工事
3. 建設業界における人材確保



令和3年度の政策提言・申入れ後の動き

○総務企画委員会

「移住定住の現状と課題についての申入れ」

2023年宝島社発行「田舎暮らしの本」2月号の「住みたい田舎」ベストランキングで東海エリア総合部門1位、人口5万人以上10万人未満のまちで総合部門3位にランクインしました。令和3年度岐阜県内の移住定住実績では、県内2位の225人が移住しました。

○文教民生委員会

「文化財の現状と課題に対する申入れ」

令和5年度から、落合宿本陣を計画的に整備するにあたり、必要な整備計画を策定するための調査に着手します。

○産業建設委員会

「ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた観光施策に係る政策提言」

中津川市観光局が発足し、コーディネーター役となり、各観光協会と連携し一体となった取り組みを始めました。

予算決算委員会報告 (補正予算)

■繰越明許費の補正額

一般会計 5,586,585千円

繰越明許費とは、自治法で認められている歳出予算の繰越制度のことです。歳出予算のうち、経費の性質上または予算成立後の事情によって年度内に支出が終わらないと見込まれるものを、あらかじめ議会の議決を得て、翌年度に繰越して支出できるようにする制度です。市の予算は、その会計年度内に支出することを原則とする(単年度主義)としていますが、やむを得ない理由がある場合は繰越支出が認められています。例えば、公共土木事業などの経費で、天候やその他の理由で工事が遅れ、年度内支出が不可能になるような場合にはこの制度が使われます。

I. 国の補正予算を活用し3月補正予算に計上し、翌年度に繰り越して実施する事業

◆一般会計<追加> 3件	57,000千円
橋りょう新設改良事業……………21,000千円	
交通安全施設設置事業……………21,000千円 他	
◆一般会計<変更> 1件	40,000千円
リニア中央新幹線関連道路整備事業……………40,000千円	

II. 早期発注のため予算化したものであり、翌年度に繰り越して実施する事業

◆一般会計<追加> 11件	100,738千円
高齢者福祉施設等運営事業……………27,269千円	
公民館を拠点とした地域づくり事業……………22,000千円	
防災情報システム事業……………2,607千円	
学校給食管理運営事業……………1,925千円 他	

III. その他やむを得ない事情により事業完了が翌年度となる事業

◆一般会計<追加> 25件	2,793,082千円
感染症予防事業……………41,799千円	
汚泥処理センター総務事業……………328,543千円	
リニア駅周辺土地区画整理事業……………233,469千円	
道路橋りょう災害復旧事業……………70,695千円	
小学校建設事業……………1,398,380千円 他	
◆一般会計<変更> 2件	2,595,765千円
中心市街地活性化拠点整備事業……………2,260,565千円	
リニア中央新幹線関連道路整備事業……………335,200千円	

■債務負担行為の補正 3件

債務負担行為とは、一般的には長期すなわち1年以上の期間に渡って発生する支払いの決まった金額について、予算としての計上はしないまでも、その支払い額を記載しておくということです。予算の「内容の一部」として、議会の議決によって設定されますが、歳出予算には含まれません。債務負担行為は、あくまで契約等で発生する債務の負担を設定する行為で、その時点でまだ歳出の予定が確定しているわけではないからです。したがって、現実に現金支出が必要となった場合は、あらかじめ歳出予算に計上しなければなりません。

①ひと・まちテラス窓口運営事業	限度額	14,256千円
②(仮称)神坂スマートインターチェンジ事業	限度額	344,615千円
③橋りょう新設改良事業	限度額	120,000千円

特別委員会先進都市行政視察報告

議会改革特別委員会

◆岐阜県高山市 「議会改革について」

1月13日

【目的】

オンラインでの委員会開催に向けた協議の経過や条例制定後の運用についての現状と課題について参考にするため視察しました。

【概要】

高山市議会では新型コロナウイルス感染症がまん延する中で、委員会の定足数の確保を図ることや議員の発言の権利を担保することを主眼におき、委員が濃厚接触者等になった場合でもオンラインでの委員会に出席できるよう令和4年3月に条例・会議規則・要綱等の整備がされていました。

課題として回線の接続障害時の復旧対応や、市民への公開の方法、感染症以外の活用、モニター設備の設置等が必要になることが挙げられていました。

【委員会のまとめ】

今回の視察を踏まえ、中津川市議会としても運用における課題の抽出と対策を検討し、さらなる議会改革につなげたいと考えております。

リニア中央新幹線対策特別委員会

◆長野県下伊那郡大鹿村 「リニア中央新幹線建設について」

1月30日

【概要】

発生土仮置き場などの現地視察を行った後、大鹿村役場にてトンネル残土処理、関係地域との合意作り、工事に係る道路等の整備について説明を受けました。

残土処理は、村内や伊那谷の市町村で行っており、急峻な中山間地域のため村内では全量を処理することは不可能であり、村内・村外で処理していきたいということでした。

関係地域との合意作りは、J R東海が中心となり、運搬経路・埋め立て方法などについて協議して決めているとのことでした。村外のことについては、関係自治体との合意決定後に連絡を受けるといった説明でした。

工事に係る道路等の整備については、現地視察の移動中に道路を見ながら、狭い道路の幅やカーブの改修、工事車両専用道路などの説明を受けました。大鹿村に入る道路にはトンネルもできていました。

【委員会のまとめ】

トンネル残土処理は、建設主体であるJ R東海が中心となり、関係自治体や関係地域と協議し、合意形成を図ることの大切さを感じました。

請願・陳情

請願

請願・陳情の全文はこちらから→



「18歳年度末までの医療費助成制度拡充に関する請願」（継続審査）

(1) 請願の要旨

1. 外来・入院とも、子どもの医療費無料制度を「中学校卒業時から18歳年度末まで」に拡充してください。
1. 国や県に対し、子ども医療費助成制度を18歳年度末まで窓口無料にするよう意見書を提出してください。

(2) 請願の理由

- 必要ときに安心して医療機関を受診できることは、子どもたちの心身の健やかな成長のために必要不可欠です。現在、子ども医療費助成制度めぐり、岐阜県内では全市町村が県基準より拡大し、入院・外来とも「中学校卒業まで無料」が42市町村(100%)であり、24市町村(これに加え令和5年度4月より3市が実施の計画)で18歳年度末まで拡大しています。
- 義務教育終了後の様々な経済的負担が子育て世代の不安の大きな要因となっています。経済的理由によって受診抑制することのないよう、子どもの病気の早期発見・早期治療を支え、すべての子どもの健やかな成長を保障するために医療費の心配を無くすことは、ますます重要となっています。
- 中津川市においても18歳年度末までの医療費助成制度の拡充を要望します。
- 少子化・人口減少が国にとっても市町村の存続にとっても深刻な中心課題になっています。子ども医療費助成に関し、全国知事会は「国の責任において全ての子どもを医療保険に伴う負担を軽減する支援制度の創設」を提言し、子育て世帯の経済的負担の軽減を求めています。
- 国や県の医療費無料制度が拡充すれば、市町村の医療費負担が減り、その分市町村が他の形で子育て世代を支援でき、少子化対策がすすみます。
- 県内どこに住んでいても、必要な医療を県が保障すべきです。子どもたちの健やかな成長のため、コロナ禍の中での保護者の医療費負担軽減のためにも、ぜひとも岐阜県の制度としての、現行の就学前まで無料に加えて「18歳年度末までの子どもの医療費無料制度の拡充」を強く要望いたします。

文教民生委員会審査内容

- 11,279人の署名につきましては、多くの市民の声として重く受け止めています。当市では、ひとり親家庭等は18歳年度末まで医療費を助成、重度心身障害者医療費助成は年齢制限なく行っており、社会的支援が必要と考えられる方を優先して医療費の助成を行っています。また、市民一人当たりの扶助費は、東濃各市と比較して最も多くなっています。一律の18歳年度末までの医療費助成の拡充は、しっかり議論し、計画的に進めていくことが重要であり、今後も継続的に審議してまいりたいと考えています。

陳情

「政党機関紙(赤旗)の市庁舎内での勧誘・購読・配達を自粛する事に関する陳情」

陳情事項

1. 政党機関紙の市庁舎内での、勧誘、購読、配達を自粛
2. 市民の個人情報を守る為にも、市庁舎内管理規程を厳守し、許可証がない者の庁舎内の立ち入りを認めない。
3. 公務の中立性及びそれに対する住民の信頼を確保すべく、政党機関紙の購読を希望する職員がある場合、その配達場所を庁舎とすることを禁じ、自宅等庁舎外の場所を配達先として指定するよう通知することにより、市職員に周知、徹底すること。
4. 市議会議員は、議員としての優越的立場を利用して、市職員等に政党機関紙の購読を強制しないようにする。
5. 市議会議員が市職員に対し、政党機関紙の購読を求める行為は、パワー・ハラスメントに該当する可能性が高いため、そのような行為をしないよう市議会議員に対し周知徹底すると共に、その防止、対応の為、例えば庁舎内に相談窓口を開いて、個々の職員の職務に支障がないように適切な処置を講じる。

以上

総務企画委員会審査内容

- 議員は、陳情書にあったように市庁舎内での勧誘・配達を自粛することが望ましいと考えます。職員の対応は、執行部で検討いただくことを申し入れます。

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は9人の議員が行ないました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。

映像配信はこちらから→



会議録はこちらから→



問 ひきこもりの方の家族会からお話は伺っています。市内では、様々な団体やグループ等が公民館をはじめとした公共施設を活用されて、それぞれの活動を展開されています。「家族会のつどい」もそうした活動の一つとして施設をご利用いただきたいと考えています。家族会との情報共有や連携などは今後も行っていきたいと考えています。
(市民福祉部長)

答 メディアや研究者が「ひきこもり」と呼ぶ社会的な孤立状態にある人たちの増加が、日本社会の直面する問題となっています。家族が地域社会から孤立することを防ぎ、悩みや辛さを分かち合える場として、家族会(家族のつどい)がつけられています。その方々は集える場所を無料で貸してほしいと要望されています。せめて1週間に1回のつどいを開催し、交流できるようにしたいと行政の支援を求めています。ですが、いかがですか。

木下 律子
ひきこもり、社会的孤立となっている人への支援について



問 東濃の中でも中津川市の扶助費は高い状況にあると認識しています。他自治体との比較ではなく、必要な福祉サービスが行われているかが重要だと思います。市民への紹介と今後の施策充実のためにも例示をお願いします。
答 ①医療費の助成のうち、中津川市独自で行っているものにはどのような施策がありますか。②障がい者の方を対象とした助成ではどのような内容になっていますか。

答 ①福祉医療助成制度では、市単独事業として乳幼児医療の内、小・中学生への助成、重度心身障害者医療の内、身体障害者手帳4級、療育手帳B2の方への助成を行っています。②重度心身障害者への医療費助成が障がい者への助成となっています。県内42市町村の内、身体障害者手帳4級の方への助成は当市の他9市と2町、療育手帳B2の方への助成は当市の他7市と1町のみの実施です。
(市民福祉部長)

中津川市の福祉の取り組みについて
榎松 直子



問 急速に普及が進むドローンの用途が大きく広がっています。都市部上空を自動で飛ばすことを解禁する航空法が改正されました。①火災が発生し、消火活動時に上空から画像を見れば的確に指示ができると思います。取り組まれてはいかがでしょうか。②空の産業革命と呼ばれ、この技術を国家戦略として推進しており、その拠点をドローン特区と認定しています。中津川市としてドローン特区を取得してはいかがでしょうか。
答 ①大規模な林野火災など広範囲に及ぶ火災現場では、目視できない延焼範囲をドローンで全容を確認することは有効と考えられます。しかし、火災では熱風を伴った上昇気流が発生しドローンの飛行は危険です。また、活動をしている消防団員の上空での飛行も危険を伴い、現時点では難しいと考えております。(消防長) ②具体的な活用案件がないため、今のところ特区の取得は予定しておりません。(総務部長)

問 獣被害の対策として、地元猟友会に捕獲を依頼したり、罟や防護柵の設置などの対策を行ったりしていますが、猟友会員の高齢化や後継者不足に悩まされています。①駆除隊(猟友会)の会員数の減少について市はどのように考えますか。②駆除に必要な免許を取得するための支援はありますか。

田口 文数
ドローンの活用について



問 脱炭素社会を目指して持続可能な自然環境に配慮した農業生産が求められています。①化学合成農薬や化学肥料を使用しない、あるいは通常よりも少ない肥料を使用する有機農業や無農薬農業を推奨し、導入を促進するため、有機農業への転換支援金や、有機農業を実践している農家の認定制度などの支援策を検討していませんか。②市内の学校給食に有機野菜を取り入れる取り組みや、有機農産物を販売する直売所やネットショップの整備や協力などを検討してはどうですか。

答 ①令和4年度に国の補助事業(有機転換推進事業)と、県の認定する仕組みが創設されました。市としては、まずこれらの制度を関係機関と協力し周知してまいります。②令和4年度末に策定される「岐阜県有機農業推進計画」に「流通システムの構築」があり、県等とも連携し、市場や需要の拡大のための調査研究を行っていきます。(農林部長)

中津川市の有機農業について
三浦 八郎



問 平成29年度に有害鳥獣対策室を設置し、駆除対策の必要性や、新規の鳥獣被害対策実施隊員への補助制度などを広報なかつがわで周知し、新隊員の確保に努めています。今後は、出前講座の活用など周知の機会を増やし、更なる会員確保に努めます。②第1種銃猟免許を新たに取得し、鳥獣被害対策実施隊員として活動していただける方へ、16万円を上限に助成しています。今後は、捕獲事業の担い手確保のため、わな猟免許取得希望者への助成も検討していきたいと考えています。(農林部長)

答 ①平成29年度に有害鳥獣対策室を設置し、駆除対策の必要性や、新規の鳥獣被害対策実施隊員への補助制度などを広報なかつがわで周知し、新隊員の確保に努めています。今後は、出前講座の活用など周知の機会を増やし、更なる会員確保に努めます。②第1種銃猟免許を新たに取得し、鳥獣被害対策実施隊員として活動していただける方へ、16万円を上限に助成しています。今後は、捕獲事業の担い手確保のため、わな猟免許取得希望者への助成も検討していきたいと考えています。(農林部長)

吉村 孝志
農産物への野生鳥獣、特にイノシシの被害と対策について

コロナ禍の経験を活かした行政運営について

糸魚川伸一

行政手続きでは同じような書類を何枚も書かされたり、窓口を回されたり、時間がかかったりと、手続きをもっと簡易化できないかとの声を伺います。特にお悔みの手続きのワンストップ化を希望される声をよく伺います。市民の待ち時間や手間を減らし、職員の負担を軽減しサービスを平準化でき、両者ともに優しい「書かないワンストップ窓口」を当市でも目指すべきだと思いますがいかがですか。

問

「書かないワンストップ窓口」については、現在、デジタル庁が取り組んでおり、将来的に全国展開を目指しているところだと考えられます。当市においては、今後、導入自治体を注視し、住民の利便性向上を第一に、活用できる窓口業務の導入を目指していく方向で考えております。(総務部長)



本庁舎の抱える課題と建替への必要性について

大堀 寿延

庁舎の建替えを考えた場合、本庁舎の場所は河川の氾濫、土石流、地震に対し市民の心配事をクリアする必要があります。現在の場所に建て替えるにしても敷地面積が少なすぎます。本庁舎は市民の安心・安全を考えることが極めて重要です。学識経験者や有識者の方々の力をお借りし、建替えの必要性をはじめ、規模や位置の基本構想をまとめる検討委員会を立ち上げていただきたいと思っておりますがいかがですか。

問

令和4年11月に開通した青木産戸線、現在建設が進んでいる都市間連絡道路など、道路状況が大きく変わってきました。人口減少、少子高齢化、社会情勢の変化も大きくあります。リニアが来た時にまちの様子も大きく変わってきます。位置の選定、規模の検討、これが非常に重要な要素となります。令和5年度から、早急に、まずは内部での検討会を立ち上げます。(市長)



再生可能エネルギー太陽光発電について

鷹見 信義

再生可能エネルギーは、どの地域でも存在します。この特徴に即して、地域と住民の力に依拠して活用してこそ、大規模な普及が可能になります。市のイニシアチブを発揮することが大切です。市、把握している太陽光発電施設の数と発電容量を伺います。

問

①令和4年9月現在、10kw以上の事業用太陽光発電施設は累計18,099件設置され、発電容量は合計10万4,198kwです。
②現時点で26施設に設置されています。
③第三次中津川市環境基本計画で再エネ導入促進として、太陽光発電の普及を推進しています。また、令和4年度に策定する「中津川市地域脱炭素ロードマップ」においても再エネの導入の推進と規制の両立を図りながら、脱炭素、地域課題の解決、地域の活性化につながる取組を推進し、社会・経済・環境の好循環を図ることを目的としています。(環境水道部長)



紙おむつの家庭への持ち帰りをやめ、保育所等施設で処分することについて

黒田ところ

問

厚生労働省が自治体に「保育所等における使用済みおむつの処分について」を通知しました。紙おむつを保護者が持ち帰っていたのは県内21市中大垣、多治見、中津川、恵那、郡上の5市です。多治見は4月から、大垣は6月から施設での処分に切り替えるとのこと。①中津川市も施設での処分に切り替えてもらえませんか。②処分費用を保護者が負担することないようにしていただけませんか。

答

①公立保育園・こども園では、紙おむつの園での処分につきましては、現在導入する方向で検討中です。②公立保育園・こども園では、保護者の費用負担はないよう検討したいと考えております。(教育委員会事務局長)



特別委員会報告

◆議会改革特別委員会「中間報告」

3月22日

○「議会改革について」

- ①「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」の改正に伴い、議会基本条例の議会の活動原則に『政治分野における男女共同参画を推進します』という一文を規定することを決定しました。これは、議会における男女平等を実現するために、体制や環境の整備が必要であるためです。
- ②次期議会に協議事項として「オンラインでの委員会開催時の運用」「男女共同参画の推進」「一般会議の開催」「議長、副議長の選挙と所信表明」「公聴会や参考人招致など、議員以外の当事者や専門家が議会審議に参加する仕組み」「通年議会」「大規模災害時行動指針の条理化」についてを申し送ることを決定しました。

◆病院・医療等対策特別委員会「中間報告」

3月23日

○中津川市公立病院あり方検討委員会の報告

- 第1～3回の中津川市公立病院あり方検討委員会の資料をまとめた中での説明と坂下診療所・坂下老人保健施設民営化進捗状況の説明を受けました。
- 第1回は資料にまとめた課題について委員からアンケート形式で意見をいただき、第2回は経営形態に関する資料を追加し、建設時期・場所・経営形態の見直しについて議論を行い、第3回はアンケート内容から、新病院建て替え・経営形態の見直しの必要性については一定の総意があったと考えるが、時期・場所等について意見が分かれており、一定の方向性を明示することは困難と判断し、意見書としてまとめたとの説明でした。公立病院のあり方について検討状況の確認を行いました。

第15回 中津川市郷土かるた競技大会



中津川市郷土かるた競技風景



中津川市郷土かるた



緊張する決勝戦



中津川市郷土かるた競技大会出場の内市9小学校33チームの99人の児童



2位 落合小学校チーム

優勝 南小学校チーム

3位 坂下小学校チーム

議会開催状況 12月24日～3月28日

本会議	(4回)
総務企画委員会	(2回)
文教民生委員会	(2回)
産業建設委員会	(2回)
予算決算委員会	(6回)
議会運営委員会	(6回)
議会改革特別委員会(協議会含む)	(2回)
病院・医療等対策特別委員会	(1回)
全員協議会	(3回)
議員連絡協議会	(2回)

中津川市へ行政視察に来られました 令和4年度の受け入れ状況

来市月日	来市団体	視察内容
7月29日	滑川市議会総務文教消防常任委員会	消防団員の増員について
8月4日	岡山県議会総務委員会	若者世代に向けた移住定住施策について
10月20日	岡垣町議会文教厚生常任委員会	発達支援センター「つくしんぼ」における子どもの療育支援について

編集後記

任期最後の議会だよりとなりました。新型コロナウイルス感染症流行のため、議会の行政視察や所管事務調査なども満足に取り組めない時もあり、掲載記事や写真等の編集に戸惑いもありました。しかしその分、議会だよりの中身の見直しや読みやすさの追求を行い、市民の皆様へのアンケートなどに取り組むことができました。まだまだではありますが、次の編集委員会へ「わかりやすい市議会」を伝えるバトンを渡したいと思います。4年間ありがとうございました。

編集委員一同